

「三陸北部森林管理署管内におけるクマタカの営巣状況について」

三陸北部森林管理署 ○平津戸森林官 久坂浩志
流域管理調整官 藤原勝志

1 はじめに

三陸北部森林管理署の管内は、岩手県宮古地方の三陸海岸から西方の早池峰山を中心とする北上高地を管轄しています。

ここには、クマタカ(写真-1、2)、イヌワシ等の希少猛禽類が多く生息しています。特に、クマタカの生息が多く森林施業との調整事案が発生するたびに、猛禽類の専門家の方々の意見を聞き調整を図り実行しています。また、これらの猛禽類は絶滅危惧種に指定され、国民から国有林には生息場所としての保護・管理に係る技術開発等も期待されているところです。

これらのことから、管内のクマタカの営巣地における営巣木の地位や林況など基礎的なデータを把握することにより、クマタカ保護のための森林施業への反映及び現場の森林官等が森林施業や保護との調整を図りやすくすることを目的に調査したものです。



クマタカ タカ科 (写真-1)



クマタカ繁殖状況、羽化後 60日位 (写真-2)

2 調査の方法

当署管内で発見されている営巣地は12箇所です。その内で、クマタカは一つがいで複数の巣を造る傾向があり、この別の巣を持つものが6箇所、併せて18本の営巣木を調査対象としました。

調査項目は、以下のとおりです。

- (1) 地況・林況調査
標高・斜面方向・傾斜角度・山腹位置
- (2) 営巣木調査
樹種・胸高直径・樹高・巣の高さ
- (3) 営巣環境等調査

別巢間の標高差・別巢間の距離・営巣木から民家までの距離・近隣の別つがいの
巢間距離

- (4) クマタカに類似する巢の観察
「ノスリ」・「トビ」

3 調査結果と考察

表-1 が営巣木に係る地況・林況調査結果一覧表です。

- (1) 地況・林況調査

営巣木の標高の調査結果は、表-1 のとおり特に大きな特徴を示していませんが、
当管内での営巣標高は500m前後であると言えます。

表-2 が表-1 の傾斜方向の調査結果を基にして、傾斜方向を8方位で示した表で
す。東・南東・南方向に特に多く、北面にも造っていますが、西面には一つもありま
せんでした。これは、三陸の強い西風を防ぐためと考えられます。

表-3 が営巣地の傾斜角度を10度ごとに示した表です。平均傾斜37度が示すと
おり、大変急峻な斜面に多く営巣しています。これは、繁殖時期に餌の動物を運び入
れる際、また巣から飛び出し飛翔する際に、沢から吹き上げる風を利用するためと考
えられます。

営巣木の山腹位置は、表-1 のとおり18営巣木の全てが中腹部に営巣しています。
また、これらは大小河川の急斜面に造られています。傾斜角度の項と同じく、飛翔に
大きく関係していると考えられます。

- (2) 営巣木調査

表-4 が樹種別内訳の表です。約半数がアカマツ天然木(写真-4)を使用していま
す。また、営巣木の平均胸高直径は76cm、平均樹高22m(表-1)で、ほとんど
が天然木の太径木が使用されています。

アカマツは特に枝が輪生(写真-3)していることから巣材が架けやすく、また他の
広葉樹(写真-5)も太い枝が複数分岐し安定して巣材が架けられる所を使用していま
す。巢の架けられた地上高は、平均15m(表-1)で、樹高のほぼ3分の2の高さ
に造られています。



クマタカ アカマツ営巣木(写真-3)



クマタカ アカマツ営巣木(写真-4)



クマタカ ミズナラ営巣木(写真-5)

(3) 営巣環境等調査

表-5は、12箇所の調査対象の中で、複数の別巣を持つ6つがい(6箇所)について、別巣間の標高差と巣間距離を示した表です。別巣間の平均標高差は38mで、その巣間距離は150mから1,000mでした。このことから、あるつがいの別巣かどうかの目安は、標高差50m未満でその巣間距離1,000m未満であると判断しました。



クマタカの架巣 (写真-7)

表-6は、営巣木から民家までの直線距離を示した表です。クマタカは、意外にも多数のつがいが民家の近くで営巣していたことから、民家までの距離を調査しました。その結果、営巣地から民家を望める距離は1,000m位だったことから、1,000m未満を里山型、それ以上を奥山型として区分し調査しました。

里山型は7つがい(11営巣木)があり、最も近いものは300m、平均で541mでした。これらの多くは、下方を国道やJR線が走り、民家も近く驚くような営巣環境と言えます。

一方、奥山型は5つがい(7営巣木)、民家までの距離が平均3,286mと里山型とは全く異なる環境下で営巣していました。

表-7は、近隣の別つがいの巣間距離を調査しました。最も近いもので1,750m、平均で4,450mでした。このことから、二つの巣間でおおむね2,000mの距離を置くと、そのつがいの別巣ではなく、他のつがいの営巣木である可能性が高いと言えます。

(4) クマタカに類似する巣の観察

参考として、クマタカと類似する猛禽類の「ノスリ」と「トビ」の巣を観察しました。ノスリの巣(写真-6)は、クマタカより小さめで巣材も細めの枝を使用していました。また、トビの巣(写真-8)は、巣材の中にビニールなどの人工物も使用していました。



ノスリの架巣(写真-6)



トビの架巣(写真-8)

4 今後の取組

現在、国土の7割を占める森林について、生物多様性の保全に係る状況の把握と森林施策への検討が求められています。それら森林の一部である国有林を管理する森林管理署においても、その一端を担わなければなりません。

今後においても、クマタカを保護するための森林施策の施策及び事業との調整を図りやすくするためにクマタカの繁殖状況及び餌動物を調査し、クマタカの生態の基礎データの把握に努めたいと考えています。

表-1 クマタカ営巣木の地況・林況

営巣地 No.	営巣木名	標高 (m)	斜面方向	傾斜角度 (度)	人天別	山腹位置	林 齢	樹 種	胸高直径 (cm)	樹 高 (m)	巣 高 (m)
1	松 草	720	南東	14	天然林	中腹	87	アカマツ	48	20	13
2	御山川 1	580	東	45	"	"	127	ミズナラ	80	22	17
	" 2	600	南	34	"	"	117	アカマツ	86	18	13
3	吉部沢 3	650	東	32	"	"	94	トチノキ	132	19	10
	" 4	600	東	40	"	"	117	ミズナラ	66	28	16
4	高檜沢	620	東	30	人工林	"	50	カラマツ	48	28	18
5	小 国	340	北	40	天然林	"	60	アカマツ	52	25	16
6	川 井 1	300	東	42	"	"	70	"	62	17	11
	" 2	340	南	25	"	"	70	"	64	25	20
7	長 岩 1	260	東	41	"	"	118	"	78	18	14
	" 2	200	南東	35	"	"	147	"	76	18	13
8	小 滝 1	440	北	40	"	"	137	カツラ	92	27	18
	" 3	460	北	42	"	"	127	ウダイ	70	25	18
9	中達曾部	640	南西	36	"	"	127	ミズナラ	94	20	16
10	小滝内	580	東	42	"	"	117	ミズメ	82	18	8
11	関 口 1	240	南東	37	"	"	125	アカマツ	106	17	13
	" 2	200	南西	45	"	"	60	"	72	20	12
12	落 合	180	東	42	"	"	60	"	60	25	22
平 均		452	東	37					76	22	15
範 囲		180~720		14~45					48~132	17~28	8~22

表-2 営巣地の斜面方位

斜面方位	営巣数	(%)
北	3	17
北東		
東	8	44
南東	3	17
南	2	11
南西	2	11
西		
北西		
計	18	100

表-3 営巣地の傾斜角度

傾斜角度(度)	営巣数	(%)
11~20	1	6
21~30	2	11
31~40	8	44
41~50	7	39
計	18	100

傾斜角度(度)	平 均	37
		範 囲

表-4 営巣木の樹種内訳

針広別	樹種	営巣数	(%)
針葉樹	アカマツ	10	57
	カラマツ	1	5
小計		11	62
広葉樹	ミズナラ	3	18
	カツラ	1	5
	ウダイ	1	5
	トチノキ	1	5
	ミズメ	1	5
小計		7	38
合計		18	100

表-5 別巣間の状況

営巣地No.	営巣木名	別巣間の状況			
		巣の標高(m)	標高の差(m)	別巣間の距離(m)	
2	御山川	1	580	20	400
	"	2	600		
3	吉部沢	3	650	50	950
	"	4	600		
6	川井	1	300	40	900
	"	2	340		
7	長岩	1	260	60	350
	"	2	200		
8	小滝	1	440	20	1,000
	"	3	460		
11	関口	1	240	40	150
	"	2	200		
平均				38	625
範囲				20~60	150~1,000

表-6 民家までの距離

【里山型】

営巣地No.	営巣木名	距離(m)
1	松草	600
2	御山川 1	400
	" 2	700
3	吉部沢 3	550
	" 4	500
4	高檜沢	800
5	小国	400
6	川井 1	400
	" 2	300
7	長岩 1	600
	" 2	700
平均		541
範囲		300~800

【奥山型】

営巣地No.	営巣木名	距離(m)
8	小滝 1	2,900
	" 3	3,900
9	中達曾部	5,100
10	小滝内	5,000
11	関口 1	2,300
	" 2	2,300
12	落合	1,500
平均		3,286
範囲		1,500~5,100

表-7 近隣の別つがいとどの巣間距離

営巣地No.	営巣木名	巣間距離(m)
1	松草	4,350
2	御山川	1,750
3	吉部沢	1,750
4	高檜沢	9,300
5	小国	8,250
6	川井	4,100
7	長岩	8,150
8	小滝	3,400
9	中達曾部	3,400
10	小滝内	4,100
11	関口	2,500
12	落合	2,500
平均		4,450
範囲		1,750~9,300